

あとがき

現在は2019年師走、今年も残すところ2週間になりました。便利な時代になったもので、現在インターネットを通じたFM テキサスのクリスマスチャンネルから流れる音楽を聴きながら、拙文をしたためています。

今月号の特集はロービジョンについてです。1980年代までは、失明者発生数が今よりもはるかに多かったにもかかわらず、ロービジョンに関しての活動は活発ではありませんでした。眼科は目の病気を治すための診療科であり、失明後は本人自身の責任でどうにかすべきだという意見が強かったと聞きます。また、ロービジョン者に対する方策も限られており、眼科医はほとんど何もできなかったのも事実です。その結果、ロービジョン者や家族は、社会から離れてひっそりと生活していくことを余儀なくされていました。しかし、最近になって健常者と障害者との共生社会の重要性が理解されるようになり、障害を抱えた人々の社会適応方法の研究が進み始めました。ロービジョンへの対策もその一環です。今回の特集を読んでいただくとわかるでしょうが、ロービジョン者へのリハビリは、大きく進歩しています。また、社会適応の方法も広がっています。つまり、ロービジョン対策は、眼のリハビリといった技術的問題から、社会が患者を受け入れ、また患者がいかに社会に適応するかという広範な問題を含むのです。ある意味では、それぞれの社会の成熟度も問われるテーマであるともいえます。

近い将来は、AIなどが導入されることにより医療が大きく変わっていくでしょう。そのなかで、眼科はどのように活動すべきでしょうか。今までのように、クリニックに来院した患者さんを治療するだけでは、近未来の社会では、眼科の存在意義が小さくなっていくのは確実です。これまでと違った、眼科の新たな試みが求められているのです。そのような大きな流れを理解して読めば、今回の特集の意味がより深く理解されると思います。(坂本泰二)

編集顧問	清水弘一	馬嶋昭生	増田寛次郎	大野重昭	玉井 信	三宅義三	西田輝夫
	水流忠彦	根木 昭	下村嘉一				
編集委員	寺崎浩子	中澤 満	坂本泰二	鈴木康之	稲谷 大	井上幸次	

臨床眼科 (第74巻 第2号)

2020年2月15日発行 (毎月1回15日発行)

定価: 本体 2,800 円+税

(2020 年年間購読料 (増刊号を含む 13 冊, 送料弊社負担))
冊子版 40,140 円+税
電子版 (個人) 40,140 円+税
冊子+電子版 (個人) 45,140 円+税

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株) 文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2020, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。
- ・ 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・ **JCOPY** < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, 出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。
- ・ 「臨床眼科」は株式会社医学書院の登録商標です。

担当 山本・松井・安部